ランドクルーザー 300　モデリスタ バージョン

リヤスポイラー　取付要領書

品番　MSD42-60001-XX
品番　MSD42-60002-NP

設定型式:FJA300W/VJA300W　　設定グレード:全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**リヤスポイラー**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
■取り付け作業はバッテリーのマイナス端子を外してから行なって下さい。
■**リヤスポイラー**を取り付ける部分の汚れ､ゴミ､ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■プロテクターを貼り付ける部分は、**必ず一方向に清掃・脱脂して下さい**。
脱脂作業を怠るとプロテクターを接着しても剥がれる場合があります。

取り付け完了後の点検・注意事項

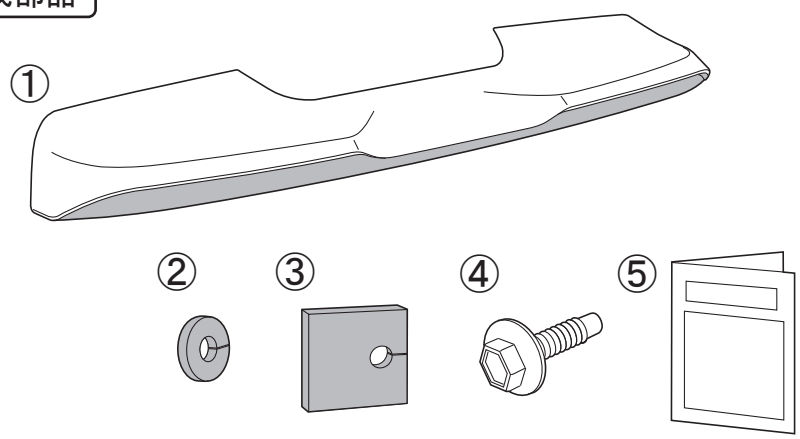
■作業終了後は各システムの設定・確認を行なって下さい。（車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定/作業」を参照）
■**リヤスポイラー**が、バックドアに確実に共締めされているか点検して下さい。
■取り付け完了後、**リヤスポイラー**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。

アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

ランドクルーザー 300 モデリスタバージョン

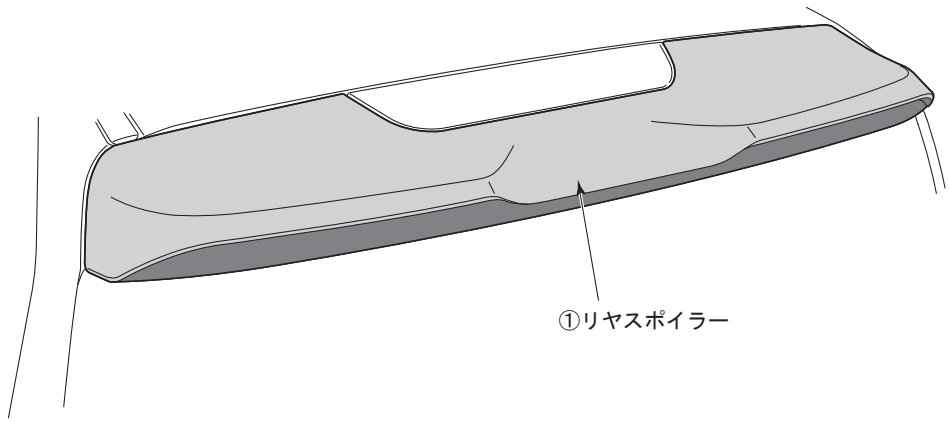
リヤスポイラー （品番：MSD42-60001-XX）（品番：MSD42-60002-NP）

構成部品



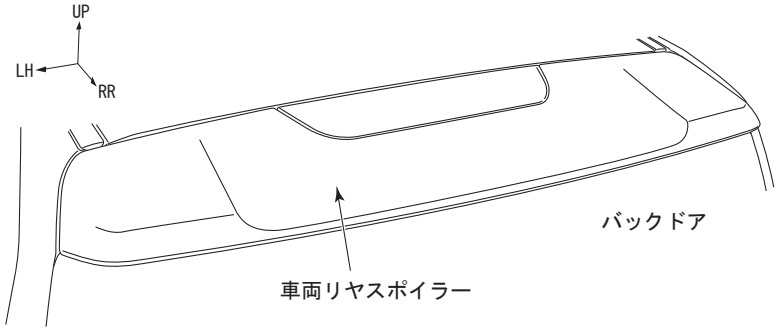
No.	品　　名	個数
①	リヤスポイラー	1
②	ホースプロテクター(丸型)	1
③	ホースプロテクター(角型)	1
④	ボルトM6×16	6
⑤	取付要領書	1

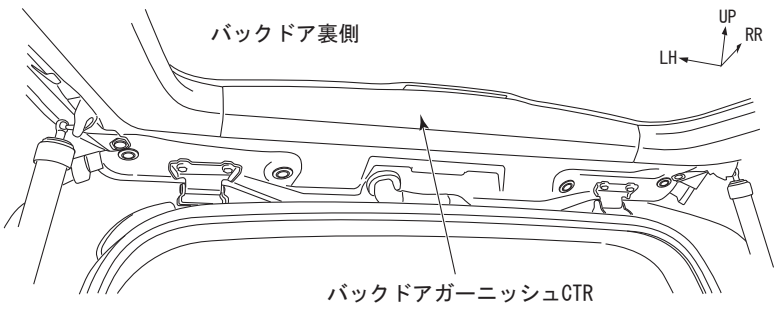
取り付け概要



取り付け手順

(1)取り付け準備



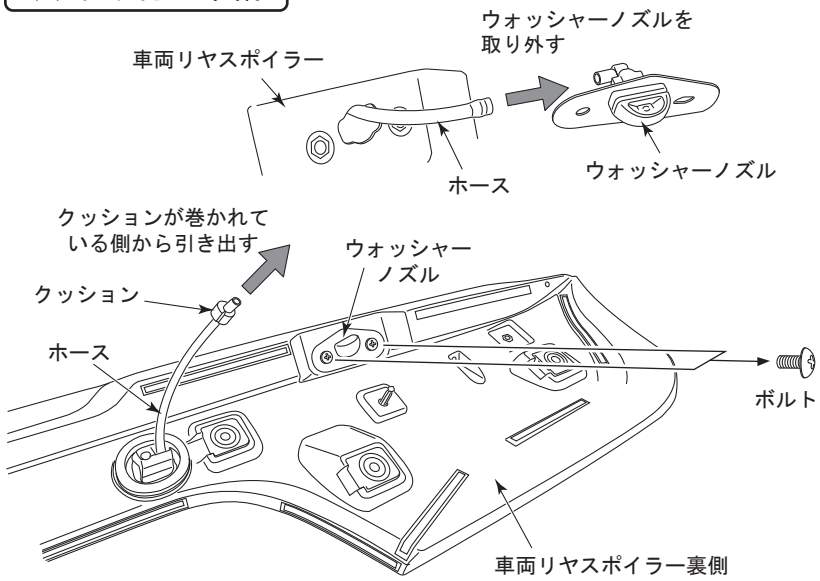


1. バックドアを開け、作業中に誤ってバックドアのロックが掛からない様に、ロックストライカー部に布などをあてがい、ガムテープで固定する。
2. バッテリーのマイナス端子を取り外す。
3. バックドアから車両リヤスポイラー及びバックドアガーニッシュCTRを取り外す。

アドバイス

- バッテリー、車両リヤスポイラー、バックドアガーニッシュCTRの取り外しの詳細はトヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。
- 取り外した車両ボルトは再使用しません。

(2)取り付け準備

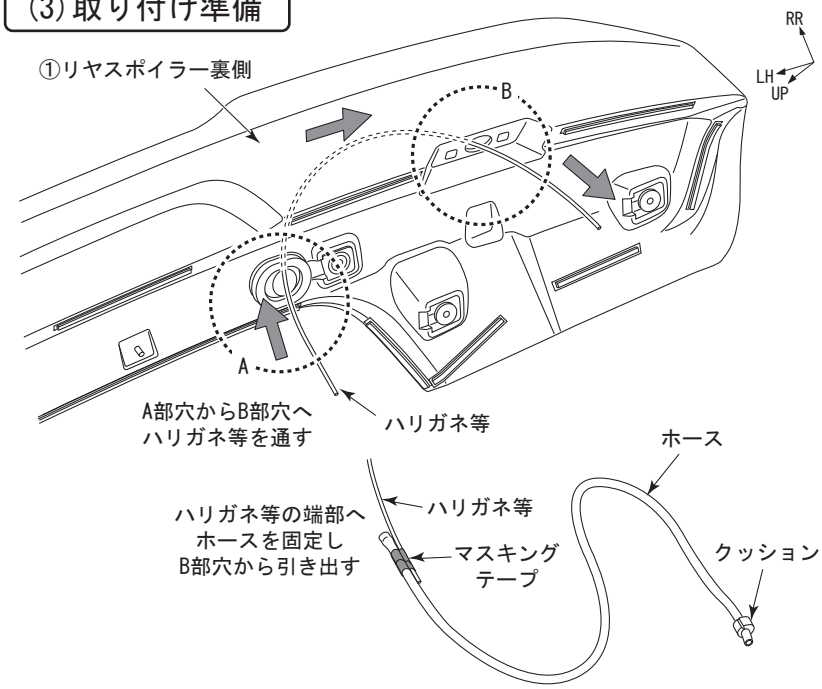


1. 車両リヤスポイラーのウォッシャーノズルを固定してるボルトを外し、ホースからウォッシャーノズルを取り外す。
2. ホースをクッションが巻かれている側から引き出す。

アドバイス

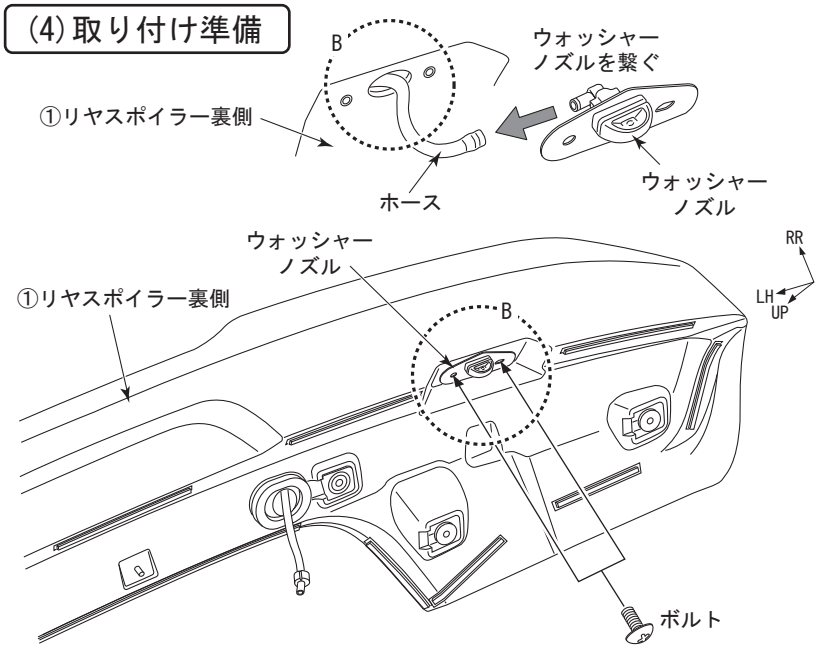
・取り外したボルト、ホース、ウォッシャーノズルは再使用しますので、紛失しない様ご注意下さい。

(3)取り付け準備



1. ①リヤスポイラー裏側のA部穴からハリガネ等を通しB部穴から出す。
2. A部穴から出ているハリガネ等の端部へ、車両リヤスポイラーから取り外したホースの**クッションが巻かれていない側**をマスキングテープで固定する。
3. B部穴から出ているハリガネ等を引き、ホースを引き出す。
   その際、ホースの反対側クッション部が穴の中に入らない様にして下さい。
4. ハリガネ等を外す。

(4)取り付け準備



1. B部穴から出ているホースとウォッシャーノズルを繋ぎ、①リヤスポイラーにボルトで固定する。

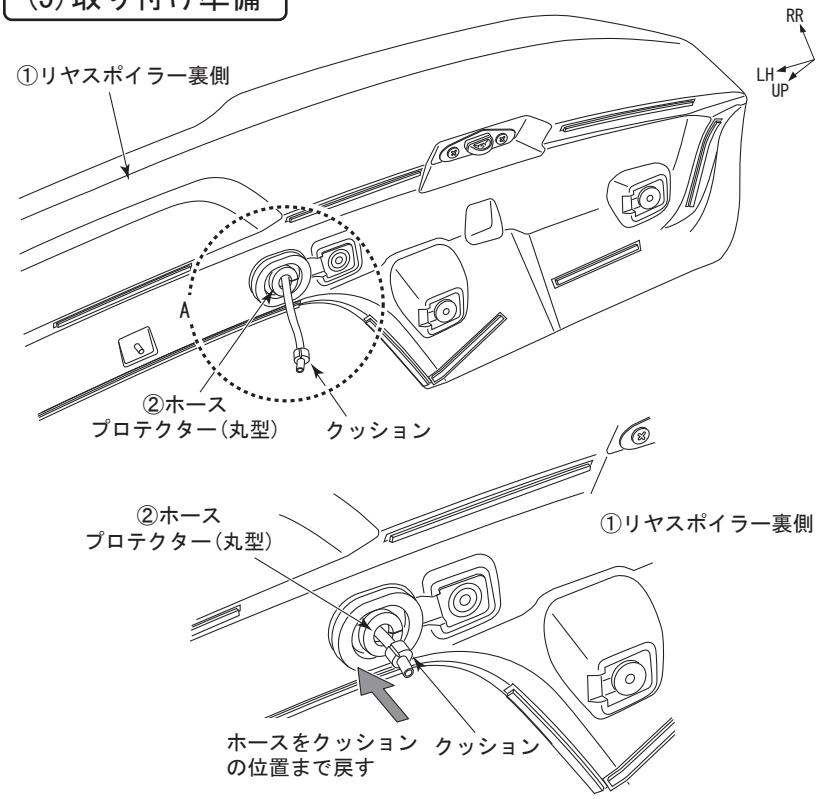
重要

・ボルトの締め付けトルクは3.5～最大4.0N.m内で行なって下さい。最大値を超えますと部品が破損するおそれがあります。

アドバイス

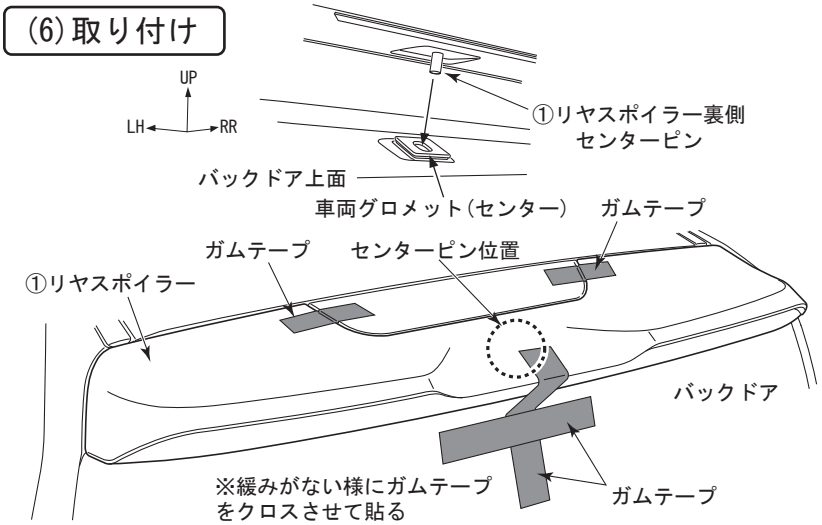
・固定する前にホースとウォッシャーノズルが確実に繋がっている事を確認して下さい。

(5)取り付け準備



1. A部穴の縁周りを一方向に清掃・脱脂し、②ホースプロテクター(丸型)の離型紙を剥がし、A部穴と穴中心を合わせて貼り付ける。
2. A部穴から出ているホースをクッションの位置まで戻す。

(6)取り付け

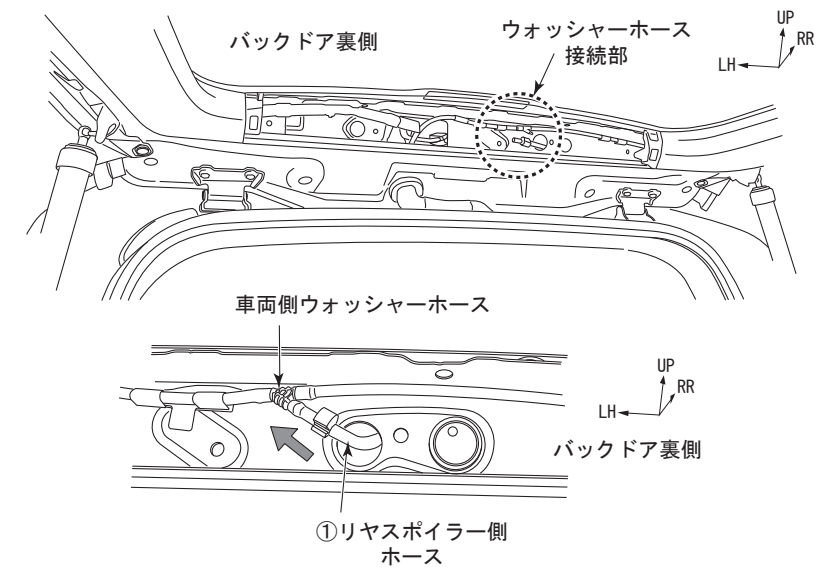


1. ①リヤスポイラー裏側のセンターピン部を車両グロメット（センター）へ合わせてあてがい、ガムテープで仮固定する。

アドバイス

- 車両のグロメット(センター、左右計3カ所)がバックドア上面に対し、浮き、外れなく、取り付けられている事を確認して下さい。
- ①リヤスポイラー裏側のセンターピン部で車両部品に傷を付けたりしない様ご注意下さい。
- ①リヤスポイラーが脱落しない様、ガムテープで緩み無く固定して下さい。

(7)取り付け

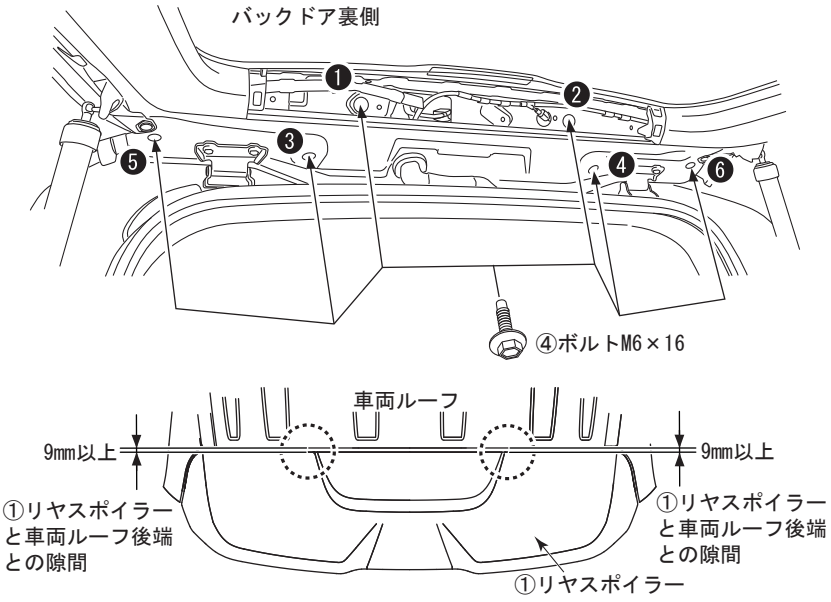


1. バックドアを開け、①リヤスポイラー側のホースを車両側のウォッシャーホースと繋ぐ。

アドバイス

- ホースと車両側のウォッシャーホースが確実に繋がっている事を確認して下さい。

(8)取り付け

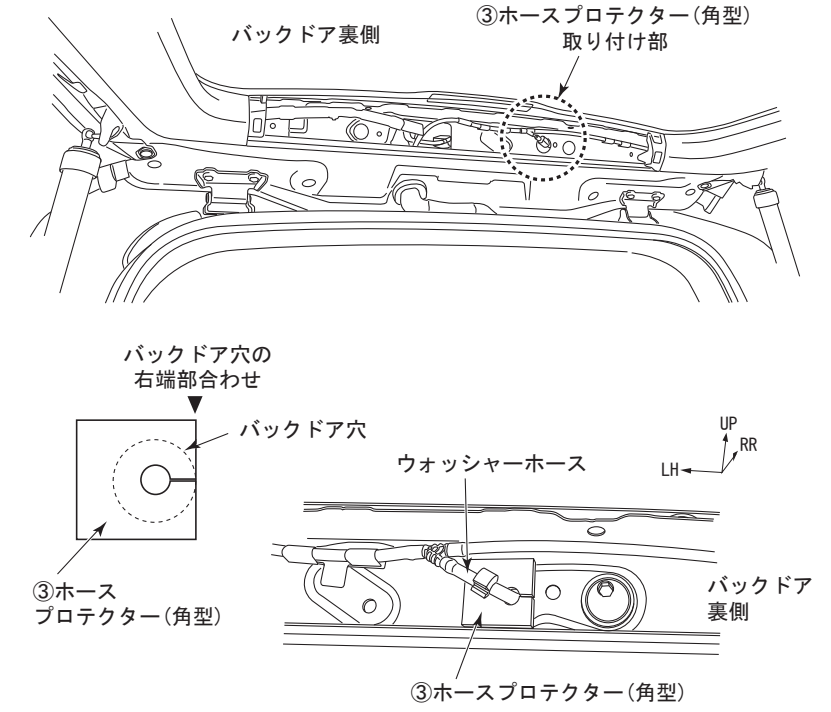


1. 図示❶～❻の順に④ボルトM6×16で仮固定する。
2. 全てのボルトを本締めする。(6カ所)

重要

- ①リヤスポイラーと車両ルーフ後端との隙間が9mm以上確保され、左右均等になっていることを確認して下さい。
- バックドア開閉時にボデーと干渉しないことを確認して下さい。
- ④ボルトM6×16の締め付けトルクは6.0～最大7.9N.m内で行なって下さい。最大値を超えますと部品が破損するおそれがあります。

(9)取り付け

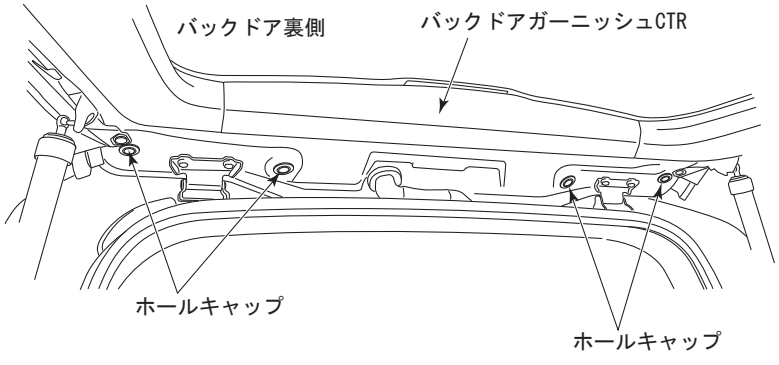


1. ウォッシャーホースが出ているバックドア穴の縁周りを一方向に清掃・脱脂し、③ホースプロテクター(角型)の離型紙を剥がしバックドア穴の右端部に合わせて取り付ける。

重要

- バックドア穴の右端部をはみだして取り付けしますと、バックドアガーニッシュCTRが復元出来なくなるおそれがあります。

(10)取り付け



1. バックドアガーニッシュCTR及びホールキャップを復元する。

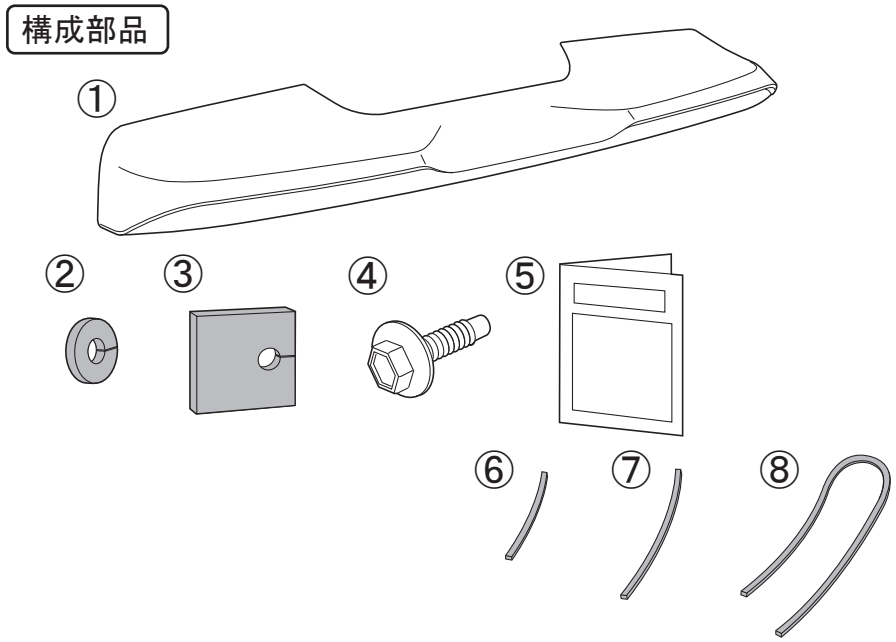
アドバイス

- 復元の詳細はトヨタ自動車発行の修理書をご参照下さい。

2. バッテリーのマイナス端子を復元する。
3. ロックストライカーにあてがった布を取り外す。
4. 全てのガムテープを剥がす。
5. 車両及び商品に傷・浮き・剥がれ等が無いことを確認し、取り付け作業終了です。

リヤスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品　　名	個数
①	リヤスポイラー	1
②	ホースプロテクター(丸型)	1
③	ホースプロテクター(角型)	1
④	ボルトM6×16	6
⑤	取付要領書	1
⑥	プロテクター(90mm)	8
⑦	プロテクター(130mm)	5
⑧	プロテクター(320mm)	1

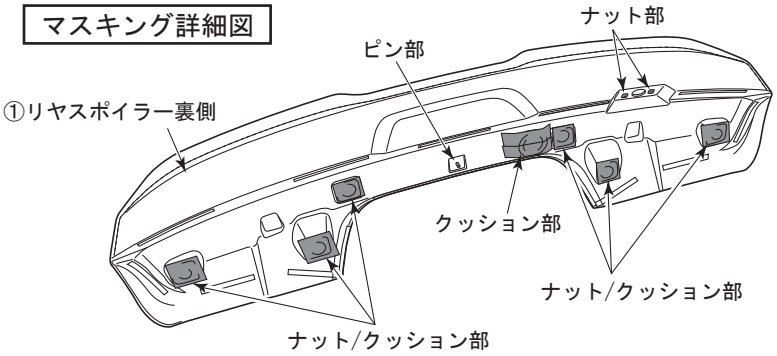
・本商品の下地処理として、製品表面の面だしまで実施しております。
　塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗布は、販売店様にて実施して下さい。
・乾燥温度を60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意して下さい。
　強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定して下さい。

(1)塗装作業

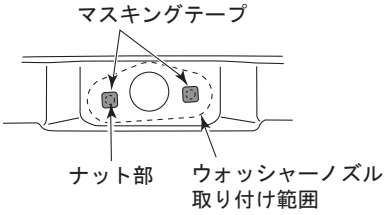
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてあるピン・ナット・クッションを全面マスキング
　する。
3. **プライマーサフェーサー塗装を行なう。(本品の材質はABSです。)**
4. 上塗り塗装を行なう。
　※上塗り用の塗料は**ウレタン系**をご使用下さい。
5. 乾燥させる。
　※乾燥温度は、成型樹脂の特性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。
6. 図示の要領でマスキングする。
　※艶消しブラック塗装(3分艶)で塗分け部を塗装する。
7. 乾燥させる。
　※乾燥温度は、成型樹脂の特性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。
　　変形しない様、形状を保持して乾燥して下さい。

アドバイス
・ペーパー等で素材を研摩する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

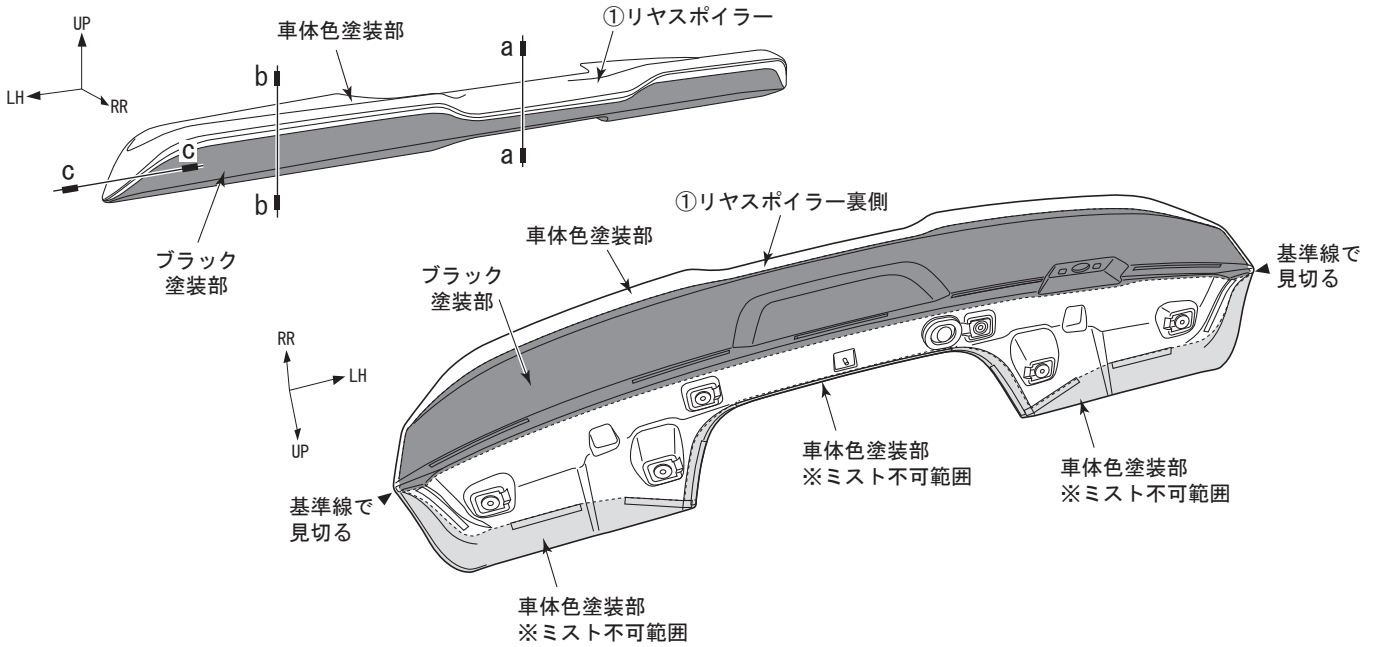
マスキング詳細図

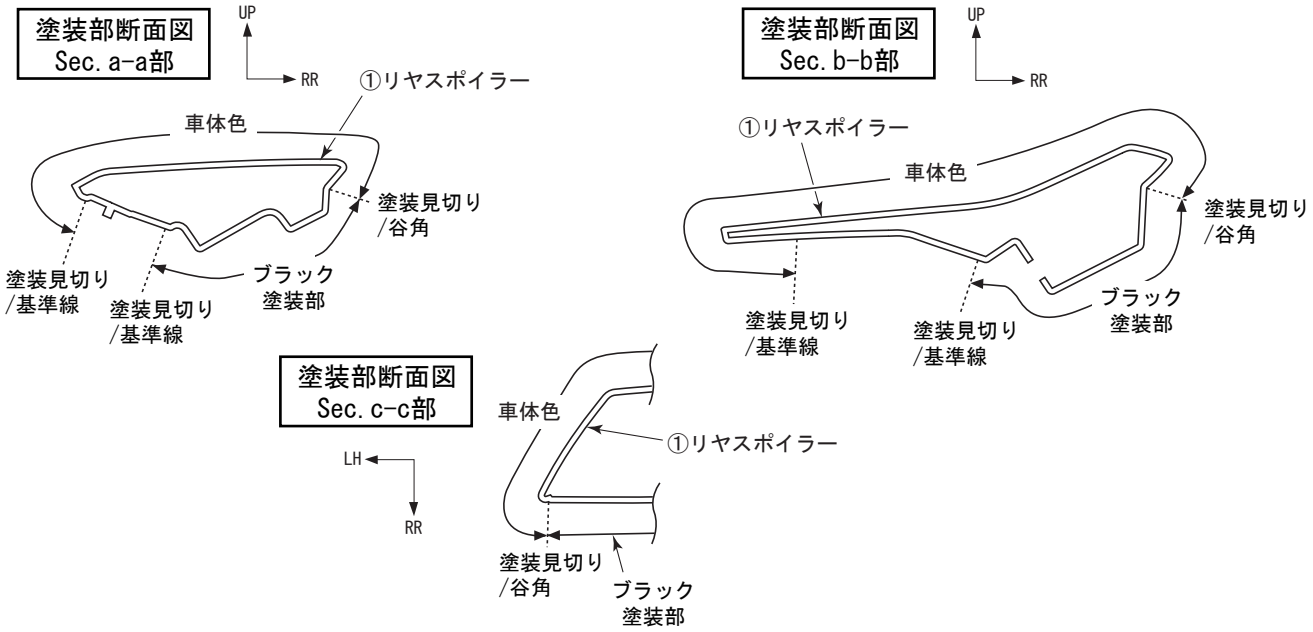


※マスキングが大き過ぎると、塗り残し部が
　発生してしまいます。
　できるだけナット部が隠れる程度にマスキ
　ングして下さい。



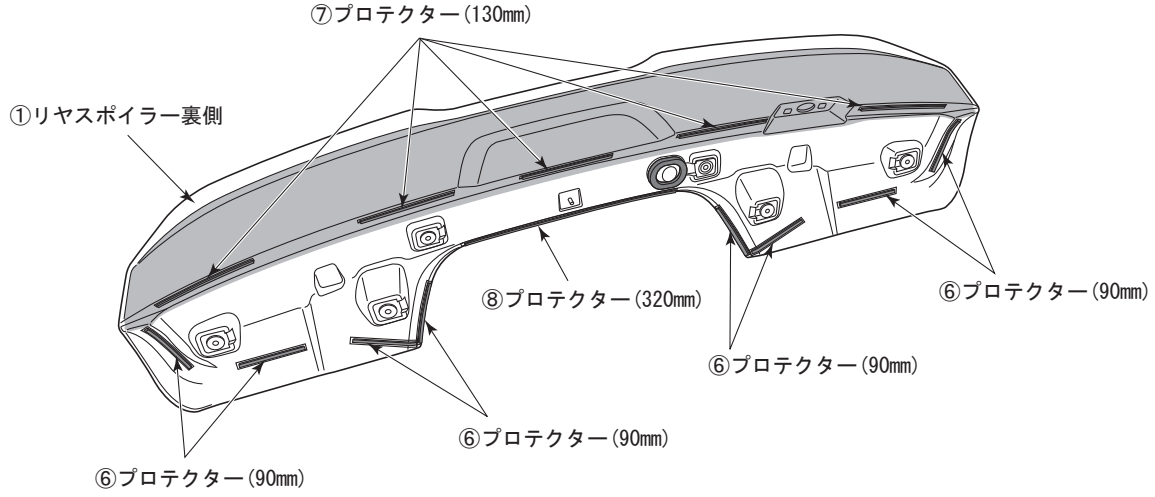
※塗り分け部詳細は次ページで説明しています。



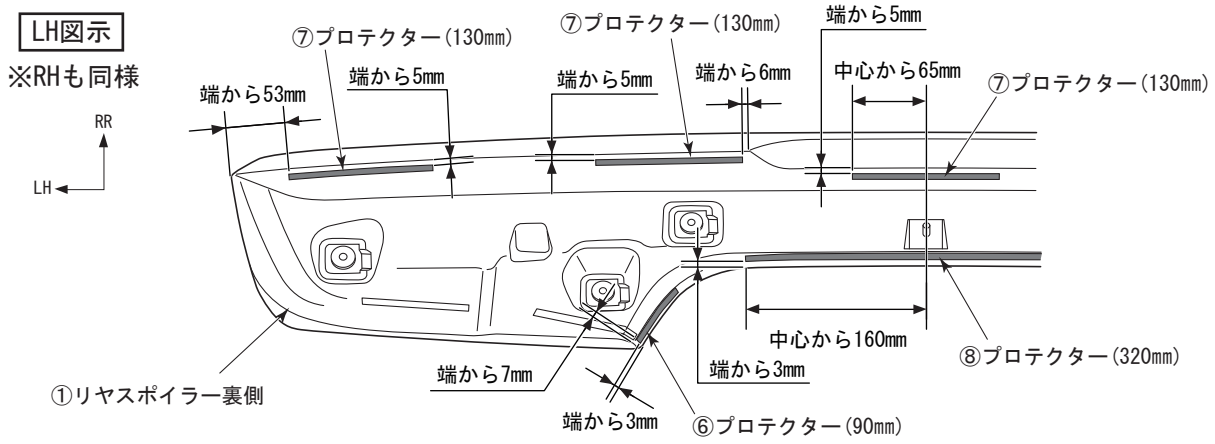


(2) プロテクターの貼り付け作業

1. 塗装終了後、下図の要領で⑥プロテクター(90㎜)、⑦プロテクター(130㎜)、⑧プロテクター(320㎜)を貼り付ける部分を一方向に清掃・脱脂し、①リヤスポイラー裏側のケガキ位置に合わせて貼り付ける。



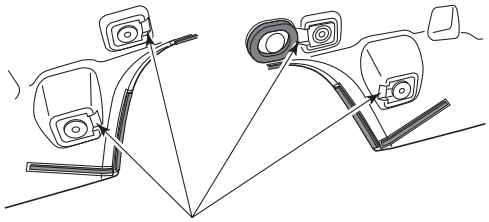
2. 図示部のケガキが確認出来ない場合は、下図の要領で⑥プロテクター(90㎜)、⑦プロテクター(130㎜)
⑧プロテクター(320㎜)を貼り付ける。



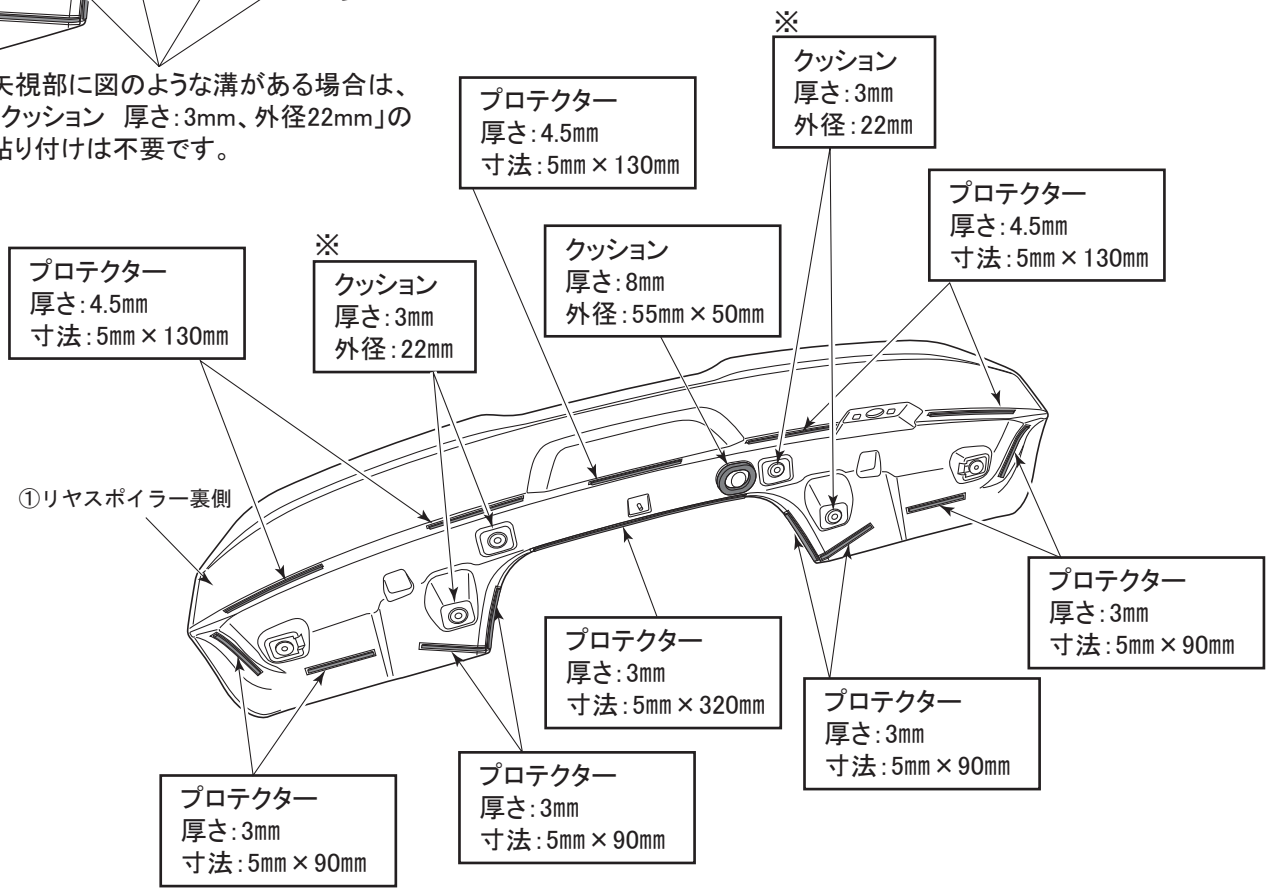
参 考

1. 補修キット(品番:MSD80-60H03)を使用してリヤスポイラーの取り付けを行なう際は、下図を参考にクッション、プロテクター、ホースプロテクターを選択し、貼り付けて下さい。

※「クッション　厚さ:3mm、外径22mm」は下図の場合は貼り付け不要です。



※矢視部に図のような溝がある場合は、「クッション　厚さ:3mm、外径22mm」の貼り付けは不要です。



株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
「お問合せ先」
モデリスタコールセンター　TEL 050-3161-1000

脱脂作業要領書

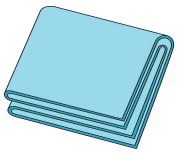
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

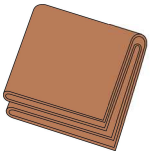
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

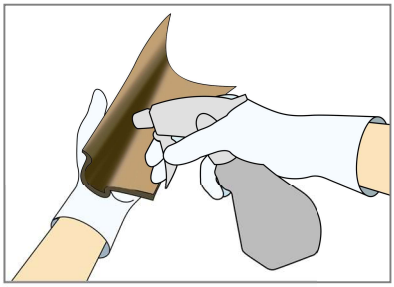

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

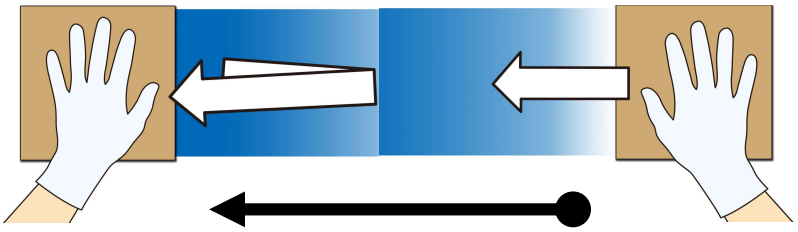


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

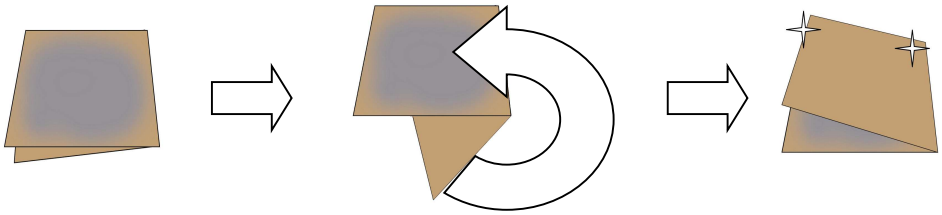
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。